

JR東海労ニュース

一方的な休日出勤反対！

闘争シリーズ No.44

No.792 2006年2月17日

JR東海労働組合

06 JR春闘スタート！ 本日(2/17)会社に申し入れ！
組合員の努力と期待に十分応えて誠意ある回答をせよ！

本部は2月17日、2006年度の賃金引き上げと夏季手当についての要求を提出しました。

JR東海の経営状況は、愛知万博による好調な輸送状況により平成17年度中間連結決算(営業収益、経常利益、純利益)は過去最大となっている。

さらに、JR東海はこの間の好調な業績にもかかわらず、4年連続ベアゼロとなっていることも踏まえなければならない。今年度においてはベアを実施しない理由は何ら存在していないと認識する。

また、2006年度の賃金引き上げと夏季手当を同時に要求する。この間、私たちは「ベアはベア、夏季手当は夏季手当と区別して議論しなければならない」と主張してきた。今回、賃金引き上げと同時に夏季手当を要求するが、交渉において「ベアはベア」「夏季手当は夏季手当」と区別して議論する。

また、昨年4月から改正された特殊勤務手当の実態調査をした結果、運転士(新幹線・在来線とも)の手当が会社算出の減額分(在来線15,000円、新幹線8,000円)より約1万円多く減額されていることが判明した。賃金引き上げと併せて、運転士手当の会社算出より多い減額分の補填を要求する。

要求実現に向け奮闘しよう！

1. 2006年4月1日以降、基準内賃金を組合員平均2,000円(除く定期昇給)引き上げること。また、55才以上の組合員の扱いも同様とすること。
2. 「新しい人事・賃金制度等」について、撤回すること。
3. 2006年度夏季手当は基準額の3.5ヶ月分を支給すること。
また、成績率の運用は公正・公平に行うこと。
4. 割増賃金D単価を150/100とすること。
5. 運転士(新幹線・在来線とも)の特殊勤務手当が、会社算出の減額分(在来線15,000円、新幹線8,000円)より約1万円多く減額されているから補填すること。具体的には、1万円×12ヶ月×15ヶ年=180万円を追加補填すること。
6. 回答は、3月17日までに行うこと。

- ① ベースアップ組合員平均2,000円(除く定期昇給)
- ② 「新しい人事・賃金制度等」撤回！
- ③ 夏季手当は基準額の3.5ヶ月分を支給すること。
- ④ 運転士(新幹線・在来線)の特殊勤務手当を補填すること。
(一万円×12ヶ月×15ヶ年=180万円を追加補填すること。)